

いきものがかりの言語学 8～肯定表現・否定表現

Linguistic Analysis of Ikimonogakari's songs 8 : their usages of negation

山田 敏 弘

YAMADA Toshihiro

lingua@gifu-u.ac.jp

1. はじめに

今回も、神奈川県出身でメジャーデビュー12年目の3人組 J-Pop グループ いきものがかりの楽曲を取り上げ分析を試みる。今回は、肯定・否定という捉え方に着目する。

いきものがかりの楽曲は、全般に前向きで明るいと評されることが多い。それが、単に否定を表す形式の使用が少ないということであるのか、それとも語彙的に否定的な表現をあまり用いないということなのか、あるいはほかの要因によるのかなどを考えるのが本考察の目的である。否定(的)文が、歌詞のどの位置で用いられるのかも重要である。この考察を通じて、否定(的)文が、談話でどのような機能を果たしているのかも考えていく。

なお、本考察では、助動詞や補助形容詞、さらに否定接辞などを、否定形式と呼ぶ。一方、意味的に「暗い」や「貧しい」などの否定的な意味を含む文(表現)を「否定的意味の文(表現)」、あるいは端的に「否定的表現」と呼ぶことにする。表題に掲げた「否定表現」は、この否定形式と否定的表現を合わせた呼び名である。

2. いきものがかりが用いる否定形式

前述の通り、否定形式と言っても、多様な形式がある。それぞれの否定形式がどのような意味・機能をもつのかを、順に見ていく。

2.1 否定の助動詞及び補助形容詞による否定

否定文は、肯定述語に対して有標の形式「ない」を付加されて表される。動詞には助動詞の「ない」が用いられるのが現代語としては一般的であるが、「ぬ」や「ず」が用いられることもある。一方、形容詞、形容動詞、名詞の否定には、形式形容詞の「ない」が用いられる。

- (1) 「変わらない」と信じてた その世界はある日変わっていて
判然としないこの「今」に躊躇い戸惑いもする
「ここにいさせて」 「知らぬ場所へいかないで」 (山下穂尊作詞「愛言葉」)
- (2) 言葉にするのは上手じゃないから 精一杯を 歌に託して (水野良樹作詞「会いにいくよ」)
- (3) 君が忘れた あの赤いかさ 今はもうここにないけど
ゆれていた あの時を 忘れずにいるから (水野作詞「赤いかさ」)

このような通常の否定については、「変わる」「上手である」に対して「変わらない」「上手じゃない」という事態がある場合のみならず、「知らぬ場所」の肯定表現には「知る場所」ではなく「知っている場所」が用いられるなどアスペクト形式の変更を伴う場合まで様々ある。山下作詞の「@miso soup」で用いられている「冴えない」も肯定表現は「冴える」ではなく「冴えている」である。

また、「判然としない」については、「判然とする」という肯定表現が存在しない。意味的には存在してもよいが、実際には使われない。また、「かけがえのない」や「味気のない」も同様に「かけがえのある」や「味気のある」などの言い方がない。上で、否定は肯定に対する有標形式であると述べたが、このような極性のある表現は、それ自体が1つの形容詞的な意味をもつ。「頼りない」、「持ちきれない」、「覚束ない」、「揺るがない」も同様である。

- (4) 覚束ない靴音に耳をすます いつかまた笑い合い逢えるかな (山下作詞「ソプラノ」)
- (5) 悲しい魔法はいつか未来へと変わって 頼りない私たちに
ささやかな愛を問いかけるでしょう (山下作詞「甘い辛い時間」)
- (6) 今までの言葉じゃ持ちきれないほど大きな夢と共に今日も眠る (山下作詞「夢見台」)

ほかにも、「話したりないこともあるけど(水野作詞「おやすみ」)」や、「しょうがないやわかっている(水野作詞「センチメンタル・ボーイフレンド」)」など、対立する肯定形式が存在しない語句もある。これらは、形式上、否定形式を伴うが、肯定否定が対立してはじめて「否定形式を伴う」という過程を経ることになると考えると、純粋な否定形式とはやはり異なるものと考えざるを得ない。よって、今回、このような極性を有する形容詞ならびに動詞句については、否定文としては扱わず、意味の面から考察するに留める。

2.2 直前に副助詞を伴う否定

否定を表す形式形容詞の「ない」は、学校文法上、自立語とされることからわかるように、前に置かれる述語との間に副助詞などの成分を伴うことがある。

- (7) 出来ることなんて多くはないけど (水野作詞「あなた」)
- (8) 想いはとうに消えたはずでも あいまいに心はうずいている
忘れられるほど 強くは ないとわかって (水野作詞「君と歩いた季節」)

(7)のように、対比の意味をもつ「は」を伴う否定形式は、部分的な否定を表し、「多い」ことを否定しつつも、「出来ること」の存在という事態そのものは否定しない表現である。(8)も、「忘れられるほど強い」ことを否定の作用域とし、対比される事態(たとえば、「強くないけれど、忘れようという気持ちはあること」など)を暗示する。

このような部分否定は、楽曲の中でどのような機能をもつのであろうか。部分的に否定することは、譲歩である。(7)(8)のように「私」が主語となる動作に関連した事態を否定する文では、「私」の弱さを表示し、謙遜にも通じる。同じように、「長くはないわ至福の時」(山下作詞「ニセモノ」)や「かぞえきれない涙を うまくはない 笑顔に隠してきたんだろう」(水野作詞「ふたり」)も、部分否定である。対比される「刹那」とも言える「至福の時」を暗示し悲しみを表現したり、「隠しきれない不器用さ」を垣間見せることで「作り笑いで本心を隠すこと」に対する不本意さを表現したり、この部分否定は、字面以上に雄弁に気持ちを語る表現となる。

ただ、実際、部分否定を用いている歌詞は少ない。

同じような構造をもつ「は」を介する否定であっても、「二度とはない奇跡が在る」や「僕はほんとは強くはないんだ」(いずれも水野作詞「スピリッツ」)、また、「でも僕はまだ逃げたくはないんだ」や「正しい“答え”なんてわかるわけないけど そう あきらめたくはないんだ」(いずれも水野作詞「なくもんか」)、さらに、「寂しくはない駅へ急ぐよ」(水野作詞「歩いていこう」)など、対比される事態が想定できず部分否定との読みができないものの方が多い。これらは、否定で「は」が対比さ

れる肯定事象を暗示することに用いられることが多いために用いられているだけで、実質的な意味をもたない、しいて言えば「否定の強調」としか言い様のない副助詞である。事実、「は」を省略しても、意味に大差は生じない。

動詞の場合、動詞の未然形と助動詞「ない」が分離不可分であり、「*書かはない」のような形は存在しない。代わりに多く用いられるのが、「書きはしない」のような「連用形+副助詞+しない」の形である（「たり」は、語源的には副助詞ではないが、同類事象を想起させる点で副助詞と同様の機能を持つことから、ここで取り上げる）。

- (9) たとえ違う空へ飛び立とうとも 途絶えはしないはしい思いよ 今も胸に (水野作詞「YELL」)
 (10) 確かに追いつけていく その手を離しはしない (水野作詞「青春ライン」)
 (11) 叫ぶとしても 避けられはしない (山下作詞「無題～遠くへ～」)
 (12) 君のことが好きだよ ねえ 伝えきれやしないよ (水野作詞「ラブソングはとまらないよ」)
 (13) 「諦めないで」 「忘れさせたりしないはしいで」 (山下作詞「愛言葉」)
 (14) …なんて言ったらアイツは得意気になるからもう褒めたりしない (水野作詞「気まぐれロマンティック」)

(9)～(11)のような「は」を介する場合、形容詞の場合と異なり部分否定の意味はもたず、否定の意味を強め、動詞で表される事態がまったく起こりえないことを表す。なぜ、このような違いが生じるかは、形容詞の場合、程度性が含意されることが多く部分的な否定が表されやすいのに対し、動詞の場合、「逃げるのか」と問われて「逃げはしないさ」と言う場合など、対比的な意味が生じやすい文脈が設定されなければ、対比の意味が生じないという、述語の性質に依るものと考えられる。

(12)の「や」の場合、この「は」と同じく、否定を強調する意味を有する。一方、(13)のような「たり」を介する場合には、類例を含めてそのような事象が生じないという、より全体的な否定を表す用法となっている。

問題は、このような事態自体を強く否定する表現が、通常の否定表現と、どのように使い分けられているのかということである。(9)～(14)は、すべて、通常の否定文で言い換えることができる。

- (9)' たとえ違う空へ飛び立とうとも 途絶えない思いよ 今も胸に
 (10)' 確かに追いつけていく その手を離さない
 (11)' 叫ぶとしても 避けられない
 (12)' 君のことが好きだよ ねえ 伝えきれないよ
 (13)' 「諦めないで」 「忘れさせないで」
 (14)' …なんて言ったらアイツは得意気になるからもう褒めない

もちろん歌の拍数には当てはまらないが、言いたいことが大幅に変わるかというところでもない。否定の伝え方が弱まるだけである。

となれば、歌詞の中でこのような副助詞を含む動詞の否定形式を用いるのは、そのまま否定を強調したい場合と言えるのであろうか。「たり」には類例までに含めてという別の機能があるとしても、「は」や「や」に関し、ここは難しい。形式が否定の強調を表すからといって、実際に強調されているのかということ客観的に測る尺度がなければ、一概に強い否定であるとも言いがたいからである。強意の副詞句「絶対に」や「二度と」などを入れたとしても差は生じない。どちらにも当てはまる。たとえば、(10)と対比するために、「離さない」を用いている歌詞を引用してみる。

- (15) そうだよ 離さないで My Sweet Boyfriend (水野作詞「センチメンタル・ボーイフレンド」)
 (16) 離さないで 離さないで ふたりは つながっているから (水野作詞「ふたり」)
 (17) ポケットのなかでクシャクシャになるまで握るよ もう離さない (水野作詞「Happy Smile Again」)

ほかにも「からくり」や「うるわしきひと」などに「離さない」というフレーズが見られる。このうち、副助詞を含む表現と置換可能であるのは、(17)だけである。否定命令文では「は」を含んだ、「～はしないで」とは言いにくい。

一方、いきものがかりファンならば、すぐに次のような反例を思いつくであろう。

- (18) 泣いて笑ってつないだこの手は 最後の瞬間まで離し**は**しないで (水野作詞「茜色の約束」)

曲の中で聴けば何でも無いフレーズであるが、実際にこう文字にしてみると、やはり違和感を禁じ得ない(否定事態の付帯状況であれば違和感はない)。この「～はしないで」は、他と対比した上で得られる強意的否定であり、単純に出来事の出来を禁じる否定命令文にはそぐわないためである。よって、(18)の「離しはしないで」は、平叙文で否定を強調する「は」を、「離さないで」という否定命令という機能にまで拡張して当てはめた結果生じた形式であり、過剰一般化の産物である(あるいは、「離したりしないで」からの類推かもしれない)。ただし、この「離しはしないで」からは、否定命令の強調という意図は通じる。

さて、このような副助詞を伴う否定表現は、楽曲のストーリー上、どのような場合に用いられるのであろうか。

(9)は、「たとえ違う空へ飛び立とうとも」という譲歩節を含む複文の主節(この場合、さらに名詞に掛かる)である。譲歩に呼応する表現とも言えよう。(11)も同じく譲歩節を伴っている。一方、(10)は、友との約束に対する固い決意であることを副詞句(形容動詞の連用形)「確かに」が示し、その余韻が続く中での使用である。

上記用例の他、「だから夢は終わ**は**しない(水野作詞「アイデンティティ」)」や「だからつないだ手を離し**は**しない(水野作詞「からくり」)」のように、「だから」で導かれた結論として述べられる場合や、「愛しいひと 忘れ**は**しない(水野作詞「風が吹いている」)」のように、帰結文で強い意志を語る場合などに、この「は」を伴った否定は多用される。

一方、「や」を伴う場合は、「は」と同様、「誰もひとりきりじゃ 起ち上がれ**や**しないから(水野作詞「熱情のスペクトラム」)」のように条件節を伴う場合に用いられることもあるが、(12)のように、それほどの必然性が感じられない場合もある。程度問題かも知れないが、「～**や**しない」のほうが、単純な否定に近づいているのかもしれない。「～**たり**しない」については、前述の通りである。

副助詞を伴う否定形式は、強く否定する意図をもって用いられる表現である。いきものがかりの歌詞では、主人公の心情を表現するために、一部を除いて、適所に用いられている。

2.3 形式名詞を介在させる否定

次に、形式名詞「こと」を介在させる否定文について見ていく。なお、経験を表す「～たことがある(ない)」、および、次のような実質的な意味を持つ「こと」は、ここでの考察の対象としない。

- (19) 最後の言葉を口に出せずとまどうあなたに あたしができる**ことなどないの** (山下作詞「くちづけ」)

ここで考察の対象となる表現は、次の(20)～(22)のようなものである。

- (20) 忘れることない小さな恋 あなたのそばに届けたい愛 (山下作詞「明日ハレルカナ」)
 (21) サヨナラ忘れられないひと もう会うこともない 声が空に消えていく (水野作詞「恋愛小説」)
 (22) 途絶えることのない 夢があるんだよ (水野作詞「あなた」)
 (23) ともだちのままでいれば 傷つくこともないのに (水野作詞「なんで」)

このような「[ル形]+ことがない」((20)のように格助詞が省略された例、「～ことのない[名詞]」のように格助詞の「が」をガノ可変により交替させた例、「～こともない」のような副助詞を介する例を含む)は、単なる「忘れない」や「途絶えない」、「会わない」と、意味が異なる。この「[ル形]+ことがない」は、「ときどき起きる」という「可能性の意味」を含む(日本記述文法研究会編 2003:157)表現である。つまり、(そのような事態が)「まったく起こらない」という意味を加えているのが、「～ことがない」である。すなわち、(20)は「忘れるという事態がまったく起こらない」という意味であり、(21)～(23)もそれぞれの動詞と省略された項とが表す事態が起きる可能性を否定していると理解される。

では、これらの否定表現は、前項で見た「は」を含む強意の否定表現とどのような差異をもつのであろうか。(20)を「忘れはしない」、(21)を「会いはしない」と言えば、否定的出来事を達成するための意志の強さが強調されるが、(20)(21)は、あくまでも可能性の否定に過ぎない。それはつまり、「忘れようとするかしないか(会おうとするかしないか)に関わらず、そのような出来事が生じ得ない」という意味であり、その出来事の内容によって、(20)は未練、(21)は諦観を表すと考えられる。

一方、無意志動詞とともに用いられる(22)や(23)のような場合には、どうだろうか。「途絶えはしない」と「途絶えることがない」では、話者の否定事象に対する確信度が異なる。前者はより確信が強く、後者は可能性を述べたに過ぎない。(23)も同様であると理論的には言える。しかし、「可能性」という程度性の否定がこの「[ル形]+ことがない」の意味だとすると、あえて強意を表示しないまでも、否定と呼応する「まったく」のような副詞を伴った「まったく途絶えない」や「まったく傷つかない」と、論理的には差が無いことになるはずである。しかし、歌詞の中で「途絶えない」「傷つかない」と置き換えると差異を感じるとすると、それは、程度性ではなく頻度である。すなわち、「[ル形]+ことがない」は、(22)で言えば、「途絶えそうになることはあっても途絶えない」、(23)も「傷つく危険性はある場合にも傷つかない」という、その都度の事象の否定が表現される。とはいえ、意志動詞とともに用いられるときほどの意味的な差の大きさは感じられず、その事態出来に対する懸念や恐れが表現されるのみである。

まだ不明な点もある「こと」を含む否定については、今後も考察を重ねたい。

2.4 二重否定

否定表現が1文において複数用いられる例には、次のような種類がある。

- (24) 何かを捜している様に見えなくもない (山下作詞「ニセモノ」)
 (25) あの日の記憶も消えてしまうのでしょうか 傷のない恋などないのでしょうか (山下作詞「くちづけ」)
 (26) そのとき 曖昧な意味 そんなもんはなくていんじゃない? (山下作詞「ホントウノヒビ」)

一般に二重否定と言ってもそれぞれである。(24)のように、ひとつの述部に複数の否定形式が含まれる場合もあれば、(25)のように、名詞修飾節に否定形式を含み、その被修飾名詞が主節で打ち消さ

れる場合もある。(26)は、文末が確認要求という機能にずれ込んでおり、すでに否定の意味はないことから、除外されるべきである。

いきもののがかりの楽曲には、(24)のような「なくもない」(あるいは「なくはない」)はこの1例のみである。あえて挙げるとすれば、「後悔なんてない…」ってワケもないって解っている」(山下作詞「ひなげし」)にもう1例見られる程度である。なぜなら、これらのような同じ述部内に2つの否定を含む表現は、2つの事象両方の否定となり、それが心情を含むとすれば逡巡となる。ストレートに伝えたいことが伝わらないこのような表現は、彼等の楽曲において、(24)の歌詞の主人公の不安定な心情の表現のように、相当明確な意図を伴った場合にしか用いられない。

一方、(25)のような名詞の修飾節と主節に否定形式を含む歌詞も、多くはない。「知らぬ場所へいかないで」(山下作詞「愛言葉」)と、「味気のない憂鬱な恋になんて答えは出ないでしょ?」(山下作詞「@miso soup」)くらいである。連用修飾節と主節双方に否定を含む表現まで含めれば、若干多くなるが、それでもさほど多くない。歌詞は、回りくどくなったら考えなければならない。その負担は聞き手を惑わす。素直に伝わる歌詞が彼等の楽曲のひとつの持ち味だとすれば、二重否定は限定された文脈においてのみ有効な機能を表示するために用いられる。なお、「@miso soup」については後述する。

2.5 否定接辞

否定接辞による否定表現には、「不」などを接頭辞に含む「不安」(山下作詞「いこう」など)、「不器用」(山下作詞「甘い苦い時間」など)、「不満」(山下作詞「いろはにほへと」など)、「不確か」(山下作詞「ソプラノ」など)、「不揃い」(山下作詞「ニセモノ」)、「不安定」(山下作詞「How to make it」)、「不幸せ」(山下作詞「明日へ向かう帰る道」)が、対立する概念である「安心」「器用」「満足」「確か」「揃い」「安定」「幸せ」の対義語として用いられている。これらは、それぞれ「安心ではない」や「器用ではない」等、否定表現の代替形式として用いられているが、通常の否定とは機能を違えない。

一方、「不意に」(水野作詞「KIRA★KIRA★TRAIN」)、「不思議」(水野作詞「キラリ」)など、原義がどうあれ現代では、必ずしも否定的事態を表すとは限らない語もある。

いずれも、考察の対象となるような形式上の特徴は見られない。

3. 否定形式以外の否定的表現

2節では、否定形式を考察した。次に、3節では、意味に着目して否定的な意味をもつ表現を考察していく。考察の対象とするのは、語句による否定的表現と文法装置による否定的表現である。

その前に「否定的」ということばを考えておく。「否定的」という表現の辞書的意味は、「否定するようなさま。そうではないと打ち消す内容をもっているさま。」(『日本国語大辞典』第二版)、「賛成できない考えでいること。否定する内容であること。(『広辞苑』)、「否定にかかわるさま。ネガティブ。」(『明鏡』)などがある。『広辞苑』の後半の記述も『明鏡』の記述も、それ自体、他の語に依拠した記述であり有意味な記述とは考えられず、唯一、『日本国語大辞典』のみが独立した記述として意味をもつ。しかし、その『日本国語大辞典』ですら、対極にある特定の事態を前提とした(形式論理学でいう「肯定的」に対応する)表現である。

しかし、実際のことばの運用において、「否定」は、「否定形式」を表し、否定の助動詞や接頭辞など、形式としての否定を有する場合に限定されるが、「否定的」、あるいは「否定的表現」は、「消極的」「後ろ向き」といった態度を表すほか、肉体的・心情的な困難さまで、広く包含する。いきもののがかりの歌詞の中から例を拾えば、たとえば、次のようなものである。

(27) 真夏の夜空に ザワめく胸騒ぎは やまない 消えない

つまずきほどけて 困り果てたとしても それでも笑え! (吉岡聖恵作詞「キミがいる」)

「胸騒ぎはやまない」、「つまづく」や「困り果てた」は、否定的表現である。ここでは、このような否定的意味を含む表現に広げて考えていく。

もちろん、いきものがかりの楽曲でも、多くの否定的意味を含む語句が用いられる。名詞では、「憂鬱(鬱)」が、山下作詞の「@miso soup」や「おもいでのスきま」、「my rain」、「ホットミルク」(水野との共作)など多用されるし、「不幸せ」も、山下作詞の「明日へ向かう帰り道」で用いられている。一方、動詞では、「諦(あきら)める」のように、水野作詞「なくもんか」、「熱情のスペクトラム」、「Happy Smile Again」、「流星ミラクル」、「笑ってたいんだ」、および、山下作詞「愛言葉」で、否定助動詞を伴った形式で用いられ、意味的には肯定的に用いられている語句もある(「諦める」の例外については、次節にて考察する)。

否定的意味をもつのは、語句だけではない。過去の非実現事象の回顧も、否定的意味をもつ表現であると捉えられる。

- (28) うっすらと消えていく影ぼうし 傍にいてと願ったのにな
あの日触れたあなたの手 もっと強く握り返して欲しかったなあ (山下作詞「かげぼうし」)

(28)は、実現しなかった過去の悔恨である。ここには、ひとつも否定形式が含まれていないが、否定的な心情が表されている。

では、このような否定的表現を含めた否定表現全体としては、どのような文脈で用いられているのだろうか。それを次節にて考察する。

4. 否定表現の機能

否定表現の機能を考えるために、否定形式ならびに否定的表現を詳述した。では、そもそも否定表現の機能は何かを考えてみよう。

山下作詞の「@miso soup」は、いきものがかりの楽曲中もっとも否定形式の多く用いられる楽曲(15回)だが、総じてポジティブな印象を与える。それは、前節でも述べたように、「偽らない」「火傷しない」のような否定的意味をもつ「偽る」「火傷する」に否定が重ねられているためである。つまり、否定形式が多用されているから否定的表現となるわけではなく、歌詞が否定的であるためには、肯定的表現を否定形式によって否定した否定表現と、否定的表現との総和が問題になるのである。さらに、前節で「否定的表現」として取り上げた「憂鬱」も、「@miso soup」では、次のように用いられている。

- (29) 始まらない憂鬱な恋をしたってしょうがないでしょ? (中略)
味気のない憂鬱な恋になんて答えは出ないでしょ? (山下作詞「@miso soup」)

否定的な事態「始まらない憂鬱」「味気のない憂鬱」を、さらに「しょうがない」「答えは出ない」で否定する、いわばこれも二重否定であり、マイナスにマイナスを掛ければプラスになるという中学生でも知っている原理が、歌詞の中でも多用されている。つまり、否定形式や否定的表現のみで否定・否定的表現を考えてもしかたないのである。

二重否定であれば、ここまで大げさな原理を持ち出さなくても理解されやすいが、さらに複雑な例も見られる。

- (30) ひとつになることで わかりあえるわけじゃない
ぶつかり 向き合い ゆるしあえたら

どうしても やりきれない そんな夜には
その手を離して 伝えてほしいんだ (水野作詞「あなた」)

厳密に言えば、「やりきれない」は、語源的に否定辞を含むが一語化した形容詞である。とはいえ、「わかりあえるわけじゃない」という否定形式を含む否定表現と、否定的であるという点では一致して背景を描いている。学校で、「食べない」「苦しくない」「もったいない」の「ない」のうち、どれが助動詞ですかなどとテストをするが、その分類も大切にしながら、それだけでなく否定的事態の描写が、作品全体でどのような意味をもつのかに重点を当てて行けば、また、学校文法の基準とは異なる「ない」が異質であるとも判断されるであろう。これからの学校文法に必要なことは、広範な文脈から取り出された使用例を根拠を挙げて特徴付ける力である。

さて、この(28)は、背景として否定的情景を描きながら、そのようなマイナス要素に溢れた「夜」だからこそ、「あなた」の存在が大きくなる。先の(27)も同様に、ちょうど、明るい昼間に戸外に置かれた100WのLED電球よりも、暗い夜に灯されたロウソクの火の方が明るいと思えるのと同じである。否定的表現の効果は、このような陰影を浮き彫りにする作用であると考えられる。いきものがかりの否定的表現すべてが、このような機能をもつわけでは、当然、ない。しかし、この機能は重要である。

- (31) いつからかすれ違いが二人を包み 僕の未来にもう君はいない (中略)
 プラス思考を盾にしても 辛い痛みや不安を忘れない (中略)
 前と変わらないような顔して二人笑い合いたいな (山下作詞「おもいでのおすまじ」)

現象を描写する(31)のような場合、「君がいる」という事象が存在しない状況を「君はいない」と表している。ここで、なぜ「は」が用いられるかの理由が肯定との対比と説明されるように、否定は無標である肯定的事象の対比的な事象である。それが、(31)のように意志というモダリティと組み合わせられた場合に（肯定的事象に対する否定的な見方を表すのではなく）否定的事象に対する見方を表すように、一般的には肯定的事象と対比的に存在する否定的事象を捉え、もくろみ、促す表現となる（もちろん、「～するな」のように促しの否定があるとの捉え方もあろうが、ここでは深入りしない）。

同じ出来事を肯定表現で表しつつ、冗長と思える類似内容の否定表現を用いる場合もある。

- (32) 明るい空の下 手を伸ばしました 隠さずね 素直にね 望むこの道を (山下作詞「風と未来」)
 (33) サヨナラは悲しい言葉じゃない それぞれの夢へと僕らを繋ぐ YELL (水野作詞「YELL」)

(32)は、「隠さず」と「素直に」は、意味的に類似する。(33)も「悲しい言葉じゃない」と「それぞれの夢へと僕らを繋ぐ YELL (である)」とも意味的に類似のものである。情報的価値から考えれば、このようなフレーズは、1表現分の内容しかもたない。同じことを繰り返して述べているだけだからである。しかし、単にどちらかの表現を用いるだけではない効果をもつことは、どちらかのフレーズを消して比較してみるだけでも十分に確かめられる。また、逆にしてみても、主として言いたいことが変わってくる。すなわち、技法として有効な技法である。この技法は、あえて想像されそうな否定形式を伴った表現を先に述べ、その後、より率直な肯定表現で表現することで「すつんと腑に落とす」効果を有するのである。

それでも、ここでもう一度、否定形式とは何かを考えてみなければならない。(32)(33)が類似内容を繰り返していることや、また拍数の問題を措けば、(31)のような場合も、「覚えていよう」と言えないこともない。なぜ、否定形式が必要なのか。杉浦(2004)は、「すべての言語が統語的否定の形式と語彙

的否定の形式をもっていると思われる」と述べるが、受身という文法装置をもつ言語が半数程度である(Siewierska)にも関わらず、否定はなぜこれほど言語に必須の表現であるのか。

否定とは、肯定を打ち消す機能、すなわち非存在や不生起を積極的に表現する装置である。その生産的装置を用いた方が、単純に多くの概念を表現できる。おそらく否定の存在意義としてもっとも大きいのは、このような表現の広がりであろう。「忘れる」に対応する否定的事態を表現する際、否定形式を付加して「忘れない」と言った方が、別の語である「覚えている」を脳内検索して表現を産出するよりも楽である。反対の事象がすぐ表現できる。否定形式というのは、便利な表現なのである。

否定形式が一回も使われていない楽曲が、いきものがかりにもある。それは、いきものがかり作詞とされる「太陽」と水野作詞の「HANABI」である。しかし、それは、否定的表現が一度も使われていないということと同値ではない。「太陽」では、「小さな出来事に悩んでいた」、「大げさに捉えすぎている」「一晩中悩んだ」など、過去として否定的表現が多用されているし、「HANABI」では、「胸裂く 想いを あなたに 歌うわ」や「つかみゆく 幻(ゆめ)の花 あたしの手を 零れ落ちて」など、現象として好ましくないことが生じている様が歌われている。過去が否定的に表されるからこそ、そこから歩き出す一步は明るい未来へ向かい、現在の思いの儂さを歌うからこそ、今のこの一瞬を大切にしようとして歌いきる。陰影で輪郭を際立たせられた思いは、より先鋭に聴く人の心に届く。

「太陽」では、上掲の2つの否定的表現の後に、「あの頃の『夢』にほらまた私包まれた」、ならびに「今がある」が、心打つ表現として響いてくるしかけとなっている（「HANABI」のほうは、比喩が明確な意図をぼかしている）。

否定とは、肯定という無標事態に対し、対極の捉え方をする有標事態である。文法的にも語彙的にも、否定表現が楽曲全体を通じて語られれば暗い歌となり、その否定表現を対比的に位置づければ、肯定表現が際立つ。楽曲の「前向きさ」を否定表現から分析しようとするれば、単純に否定表現の有無で語るのではなく、その機能を明らかにしなければならないのである。

5. おわりに

以上、いきものがかりの楽曲を通して、肯定表現と否定表現について考察してきた。これまでに見たように、否定表現を背景に未来の肯定表現を歌うという手法が、彼らの楽曲を前向きなものとして感じさせていることが理解された。

彼らの歌詞に次のような表現がある。

(34) 輝くもののむこうに影がある

光も闇もすべてはひとつだから (水野作詞「アイデンティティ」)

むしろ、「影が描かれるからこそ輝きが増す」のが、いきものがかりの「前向きさ」の技法である。(34)に示された背景描写に続き、「震える指もわたしの一部なんだ だから夢を恐れはしない」と未来の決意を語る。常に、主節は肯定表現である。

誤解のないように言うておくと、すべて「前向き」だから優れているとは考えていない。このような肯定表現に鼓舞される人もいれば、ただ弱さを共感してほしい境遇もある。万人が楽曲に対し同じく求める心情などは、抽象度を高めれば確かにあるが、具体的には多様に存在している。彼らの歌は、その一部に込めているに過ぎないのかもしれない。ただ、否定表現を背景に語られる肯定表現という文・談話構造において、適切でかつ新奇な語句によって彩られ、影に際立たされた光のごとく輝くことが、多くの人に共感されていることは事実である。

「前向きさ」などの抽象的感覚は、そのことばをそのまま使うか否かは別にして、国語教育における物語文分析にも用いられる。中学校の国語教材では、友達とのすれ違いという否定的事象から抜け

出て、自らの自立した道を歩き出す安東みきえ著「星の花が降るころに」(光村図書出版中1国語)や、自分の内面的な弱さという否定的事象を乗り越えて、友の待つ自らの処刑の地へと急ぐ主人公が栄光を手に入れる太宰治著「走れメロス」(教育出版・光村図書出版中2国語)など、物語文教材の中には、このような否定表現を背景として描きながら肯定表現で終わる文章構成も多く見られる。これらは、いきものがかりの歌と同じ構造を有していると言ってもよい。というよりも、物語の構造を掴む、より普遍的な手法であるとも言える。

これからの国語教育は、物語文教材が減り、より論理的思考を学ばせるものが増えていくことだろう。その中でも、こうやって物語の構造を掴ませる普遍性は、J-Pop を含む広く様々な文章で見つかる。真に大切なことが教えられれば、それでよい。

【参考文献】

- いきものがかり(2013)『いきものがかり全歌詞集』シンコーミュージック・エンタテイメント
杉浦滋子(2004)「否定の類型論をめざして」麗澤大学言語研究センター(LinC) セミナー 2004/5/13
(http://www.fl.reitaku-u.ac.jp/LINC/pub/LinC_20040513_sugiura.pdf)
日本語記述文法研究会編(2007)『現代日本語文法3 アスペクト・テンス・肯否』くろしお出版
Siewierska, Anna. (2011) Passive constructions. Dryer, Matthew S. & Haspelmath, Martin. eds. The World Atlas of Language Structures Online. Munich: Max Planck Digital Library, chapter 107 (2019/08/18 確認)

(令和1年9月31日受理)